

生理検査学Ⅰ

薬：L1-29221MY、生命：L1-16221MS

医療科目 2年／後期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 榎本 みのり(非常勤講師)

■教育目的

臨床生理学は臨床検査学の一分野として重要であり、診断や病態の把握をするために必須の領域である。臨床検査技師をめざす者はもちろん、医療従事者として本科目の履修は病態生理や症例解析に役立つ知識が得られる。すでに3年の臨床分析学で総論的なことは学んでいるので、この講座では実際の症例の検査データなどを通じて具体的な応用とその解釈に重点をおく。つまり、実習や臨床で役立つ実践力への橋渡しを目標としている。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、SD-③】

■学習到達目標

1. 検査手技と結果の解釈、患者ケアへの適応ができる。
2. 各検査法の適応疾患と限界(問題点)が説明できる。
3. 対象疾患についての病態、診断が説明できる。
4. 治療法と、それによる検査の変化を理解して評価ができる。
5. 臨床検査技師国家試験の問題が理解して解答できる。
6. 薬剤師として臨床検査と薬物治療の関係について説明できる。

■準備学習(予習・復習)

予習：授業に関連した教科書の範囲を読んでくる(20分)

復習：重要事項をノートにまとめる(30分)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

検査法の説明を受けた後、実際の検査の結果を評価する演習も行う。ビデオや写真などによって視覚的にも理解できるようにする。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	検査の役割	検査の目的と技師の医療チームにおける役割	
2	心電図	心電図の基礎	
3	心電図	標準12誘導	
4	心電図	波形(正常)	
5～7	心電図	波形(異常)	
8	負荷心電図	負荷心電図、ホルター心電図、その他の心電図	
9	心電図	波形の評価(正常)	
10、11	心電図	波形の評価(異常)	
12、13	心音図	心周期、正常心音、異常心音	
14	脈管検査	ABI、PWV、FMD	
15	まとめ	国試対策(循環器分野)	

■授業分担者

花尾 麻美(非常勤講師)(No.1)、榎本 みのり(非常勤講師)(No.2～4、9、12～14)、市川 由理(非常勤講師)(No.8、10、11、15)、櫻井 進(非常勤講師)(No.5～7)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

課題提出100%(課題提出をもって出席確認、成績評価とする。)

■教科書

最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版(医歯薬出版株式会社, 2022年1月)